MA1905-B
© 2018 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

5580*JA#

取扱説明書

5580

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

時計を光に当て、十分に充電してお使いください。

本機の詳しい取扱説明書（操作ガイド）およびQ&Aについては、下記ウェブサイトをご覧ください。
https://casio.jp/support/wat/

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

危険	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。

⚠危険

二次電池について

本機から二次電池を取り出さない。
発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に依頼する。
指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

⚠警告

スキューバダイビングに使用しない

本機をスキューバダイビングに使用しない。
本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは常に清潔にして使う。
ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。
きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ご使用にあたって

時計の表示は、安全な場所で確認する。
思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

時計の着脱に注意する。
バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

就寝時は時計を外す。
思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

小さなお子様と接するときは、時計を外す。
お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。
シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

オートライトが作動する状態で、腕につけて自動車などの運転をしない。
不意のライト点灯が運転を妨げて、交通事故の原因となることがあります。

この時計の特長

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

◆正確な時刻がわかります

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

◆ワールドタイムがわかります

世界48都市の時刻を表示できます。

◆ストップウオッチとして使えます

1/100秒単位で60分まで計測できます。

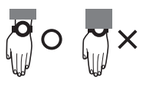
◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

光で充電（ソーラー充電）



- 腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

- 時計を腕から外しているときは、文字板（ソーラーパネル）に光が当たる明るい場所に置いて充電してください。

- 安定してご使用していただくために、1か月に1回、半日ほど日光に当てて充電することをおすすめします。

注意
- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。

重要
- **長い間光に当たらないと止まってしまいます。**
- **充電にかかる時間などについて、詳しくはウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）をご覧ください。**
- **一度止まってしまうと、動き出すまでに長時間の充電が必要になります。**

充電不足や充電切れ

バッテリー（二次電池）の充電状態はバッテリーインジケーター（L M H）で確認します。充電量が低下してインジケーターの表示が［L］以下になったときは、使用できる機能が制限されるため、明るい場所に置いて充電してください。

節電（パワーセービング機能）

節電レベル	節電開始までの所要時間	表示と機能の状態
レベル1	午後10時から午前6時の間に、暗い場所に置いてから約1時間	液晶表示以外のすべての機能は作動しています。
レベル2	レベル1の状態が6～7日間継続	節電を解除するまで、針は12時位置のまま、すべての機能が停止します。

- 節電状態は、以下の方法で解除します。
  - いずれかのボタンを押す
  - 時計を明るい場所に置く
  - 時計を傾けてオートライト機能を作動させる
- ストップウオッチモードまたはタイマーモードのときは節電状態になりません。

製品仕様

精度	電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±15秒
基本機能	時・分・秒・月・日、曜日／年、午前／午後（PM）／24時間制表示、フルオートカレンダー（2000～2099年）
電波時計機能	自動受信・手動受信 受信日時確認機能 サマータイム自動切り替え 受信局自動選択機能（JJY、MSF/DCF77で対応） 受信電波 コールサイン：JJY（40kHz/60kHz）、WWVB（60kHz）、MSF（60kHz）、DCF77（77.5kHz）、BPC（68.5kHz）
ストップウオッチ機能	計測単位　1/100秒 計測範囲　59分59秒99（60分計）
タイマー機能	セット単位　1秒 計測範囲　100分 計測単位　1秒 タイムアップを10秒間の電子音で報知
ワールドタイム機能	世界48都市（31タイムゾーン）の時刻を表示、サマータイム設定機能
アラーム機能	時刻アラーム アラーム数　5本 セット単位　時・分 アラーム報音時間　10秒間 時報　毎正時に電子音で報知
ダブルLEDライト	文字板用LEDライト（フルオートライト、ネオンイルミネーター、残照機能、残照時間切り替え付き） LCD部用LEDバックライト（フルオートライト、スーパーイルミネーター、残照機能、残照時間切り替え付き）
その他	自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、モニターアラーム、パワーセービング機能、バッテリーインジケーター表示、操作音ON/OFF設定、針退避機能、アラームのカウントダウン
使用電池	二次電池
持続時間	約7か月 （アラーム10秒/日、ライト1.5秒/日、表示点灯18時間/日、針退避1回/日、電波受信約4分/日）

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC		0	協定世界時
LISBON	LIS	0	リスボン *
LONDON	LON	0	ロンドン *
MADRID	MAD	+1	マドリード *
PARIS	PAR	+1	パリ *
ROME	ROM	+1	ローマ *
BERLIN	BER	+1	ベルリン *
STOCKHOLM	STO	+1	ストックホルム *
ATHENS	ATH	+2	アテネ *
CAIRO	CAI	+2	カイロ
JERUSALEM	JRS	+2	エルサレム
MOSCOW	MOW	+3	モスクワ *
JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+4	ドバイ
KABUL	KBL	+4.5	カブール
KARACHI	KHI	+5	カラチ
DELHI	DEL	+5.5	デリー
KATHMANDU	KTM	+5.75	カトマンズ

コード		タイムゾーン	都市名
DHAKA	DAC	+6	ダッカ
YANGON	RGN	+6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+7	バンコク
SINGAPORE	SIN	+8	シンガポール
HONG KONG	HKG	+8	香港 *
BEIJING	BJS	+8	北京 *
TAIPEI	TPE	+8	台北 *
SEOUL	SEL	+9	ソウル *
TOKYO	TYO	+9	東京 *
ADELAIDE	ADL	+9.5	アデレード
GUAM	GUM	+10	グアム
SYDNEY	SYD	+10	シドニー
NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	−11	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	−10	ホノルル *
ANCHORAGE	ANC	−9	アンカレジ *

コード		タイムゾーン	都市名
VANCOUVER	YVR	−8	バンクーバー *
LOS ANGELES	LAX	−8	ロサンゼルス *
EDMONTON	YEA	−7	エドモントン *
DENVER	DEN	−7	デンバー *
MEXICO CITY	MEX	−6	メキシコシティ *
CHICAGO	CHI	−6	シカゴ *
NEW YORK	NYC	−5	ニューヨーク *
SANTIAGO	SCL	−4	サンティアゴ
HALIFAX	YHZ	−4	ハリファックス *
SAINT JOHN'S	YYT	−3.5	セントジョンズ *
RIO DE JANEIRO	RIO	−3	リオデジャネイロ
FERNANDO DE NORONHA	FEN	−2	フェルナンドデノロニャ
PRAIA	RAI	−1	プライア

＊ 受信機能対応都市
(HNL(HONOLULU)、ANC(ANCHORAGE)は条件が良ければ受信する場合もあります。)

参考

- この表は、本機の都市コードの一覧（2017年7月作成）です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時(UTC)を基準にしています。

時計の使い方

時刻や日付を自動的に合わせる

この時計は、時刻情報を乗せた標準電波（以降、電波）を受信することで、正確な時刻と日付を表示します。

- 電波の受信には自動受信と手動受信があります。普段は自動受信で時刻や日付を合わせてください。
- 電波を受信できない地域では手動で時刻や日付を合わせてください。
- 手動受信および電波の受信範囲については、ウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）をご覧ください。

重要

- **電波を受信するためには、受信に対応する都市をホーム都市に設定しておく必要があります。受信機能対応都市については、「都市コード一覧表」をご参照ください。**

参考

- 日本で使用する場合、購入時の初期設定から変更する必要はありません。購入時の初期設定は以下の通りです。
  - 都市：東京（TOKYO/TYO）
  - サマータイム設定：AUTO
- 海外旅行など、日本以外のタイムゾーンで使用するときは、移動先に合うホーム都市を設定します。

自動受信

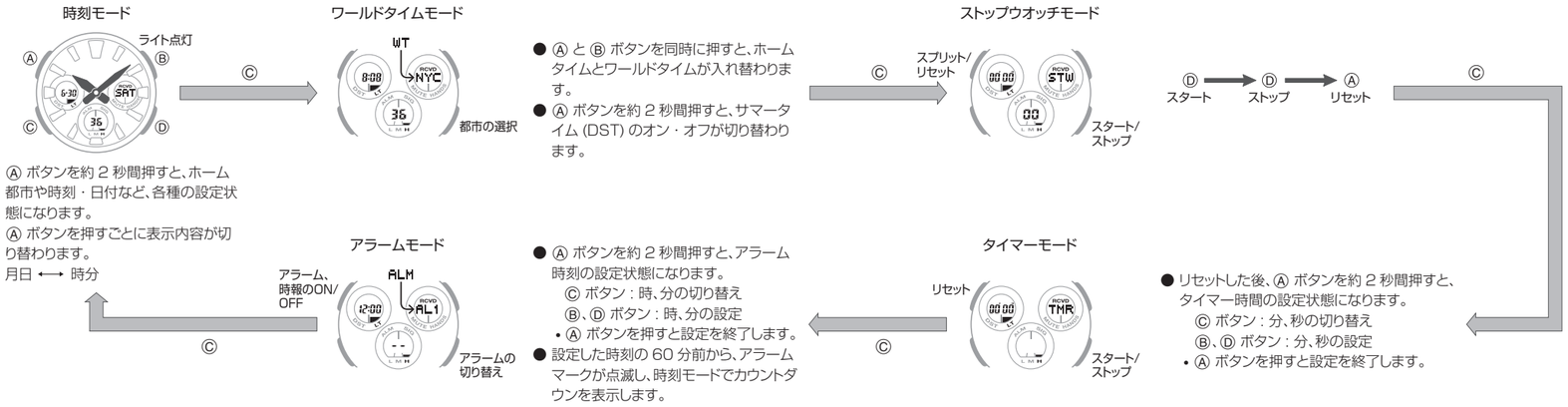
受信の際は、時刻モードにしてください。

●午前12時（深夜12時）から午前5時の間、窓際に、時計を置いたままにしてください。

- 受信に成功すると、自動的に時刻と日付が合います。
- 受信できない場合は、ウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）で受信に適した場所をご確認ください。

モードの切り替えと操作

Ⓒボタンを押すと、以下のようにモードが切り替わります。どのモードからでもⒸボタンを約4秒間押し続けると、時刻モードに切り替わります。



オートライト機能

- 時刻モードで、Ⓑボタンを約3秒間押し続けると、オートライトON/OFFが切り替わります。
- オートライト機能がONのとき、暗いところで時計を40°以上傾けるとライトが点灯します。

針退避

- Ⓒボタンを約2秒間押し続け、[HAND]を表示したらボタンを離すと、針が液晶表示の上から退避したり、退避を終了したりします。
- 時刻モード/タイマーモード/アラームモードでは、設定状態になると針が自動的に退避します。

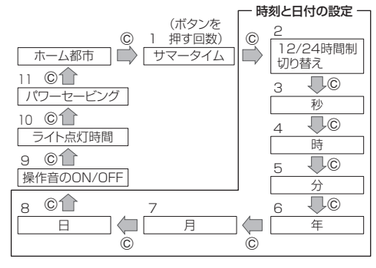
時刻や日付の手動合わせ

電波を受信できない地域では手動で時刻や日付を合わせてください。

❶時刻モードのときⒶボタンを約2秒間押し続け、[ADJ]を表示したらⒶボタンを離します。

- 都市コードと都市名を表示し、ホーム都市のセット状態に入ります。
- 時分針は退避します。

❷Ⓒボタンを押して、設定する項目を選択します。



❸ⒷまたはⒹボタンを押して設定を変更します。

画面	変更項目	操作
TYO: TOKYO	ホーム都市の設定	ⒷまたはⒹボタンを押す
AUTO/ OFF/ON	サマータイムの設定 AUTO:電波受信で自動切り替え OFF:スタンダードタイム ON:サマータイム	Ⓓボタンを押す
12H	12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）の切り替え	Ⓓボタンを押す
36	秒を「00」にリセット • 30～59秒のときは1分繰り上がります	Ⓓボタンを押す
PM 10:08	「時」「分」の変更	ⒷまたはⒹボタンを押す
6-30 20 18	「年」「月」「日」の変更	ⒷまたはⒹボタンを押す

画面	変更項目	操作
KEY♪/MUTE	ボタン操作音のON/OFF KEY♪:ON MUTE:OFF	Ⓓボタンを押す
LT1/LT3	ライト点灯時間 [LT1](約1.5秒間) [LT3](約3秒間)	Ⓓボタンを押す
PSON/PSOF	パワーセービング機能のON/OFF	Ⓓボタンを押す

❹Ⓐボタンを押して設定を終了します。

時計の針が合わない場合

時計が強い磁気や衝撃を受ける等の原因により、針の位置が合わなくなることがあります。

- デジタル表示とアナログ部(針)の時刻が合わない
- 電波を受信したのにアナログ部(針)の時刻が合わない

この状態になっている場合、ウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）の「針の位置補正」をご覧になり、時計の針の位置を補正してください。

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
  防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
  - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
  - 入浴のときに使用すること
  - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
  - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
  なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご使用上の注意

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
  ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしてしまうことがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

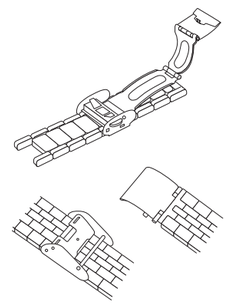
- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）